住まいを育み、彩りのある生活を楽しむための情報タブロイドマガジン

MATERIAL

[January.2017]

vol.04

よりよい住まいを創り出す人たちへのインタビュー
material interview #04 KIKI

「自分で育てる空間」の心地よさ

モデル・女優 KIKI キキ

TAKE FREE

photo by YOKO SAWANO

よりよい
住まいを
つくり出す
人たちへの
インタビュー

#04 KIKI

Material Interview

武蔵野美術大学の建築学科卒業後、モデル業を務めながら、空間プロデュースの仕事に携わっていたKIKIさん。愛媛県の道後温泉で開催された「道後オンセナート2014」にて、KIKIさんがプロデュースしたホテルの一室「椿ヒュッテ」を見たという人もいるのではないだろうか。椿の写真がどかんと壁に貼られたその空間は、KIKIさんのプロデューサーとしての力量とアーティストとしての側面がつながった瞬間をこれでもかと表していた。

今回のインタビューでは、プロデューサーやアーティストとしてのプロ目線と、そこに暮らし住まう人としてのプライベート目線をごちゃまぜにして、KIKIさんの空間づくりをフィーチャーさせていただいた。「MATERIAL」インタビューでは毎度おなじみの、ゲストとのコラボレーション企画についてもお見逃しなく。

(聞き手・坂田夏水)

故 東松照明作品にインスパイア？

——Decor Tokyoの店内をぐるりと見ていただきましたが、いかがでしたか？

KIKI：いろいろ買っちゃいそう（笑）。アンティーク金物をパリののみの市で買ったりもするんですけど、それよりずっと手が出しやすい価格の金物があったり……ペンキ缶もあんなに素敵なら飾っておけますね。学生のころはペンキでテーブルやイスを塗ったりもしていたんですが、当時はキレイな色がなくて。

——D.I.Y.されるんですね。

KIKI：でも、今まで自分でやろうと思ってやったことは敷居が低いことばかり。特に「面」で楽しめることって難しくて、好きな柄の布を買ってきてカーテン代わりにする以外はやったことがないんです。だから、貼ってはがせる壁紙は、使える場所の幅も広いし、すごくいいなって思います。今までは、はがせないことが足かせになって「どうしよう」って悩んで結局やらなかったので……。

——今のご自宅の壁は白ですか？また、最近ではふすまに壁紙を貼る人もすごく増えているんですが、ご自宅にふすまなどがあれば色や模様を教えてください。

KIKI：基本的に壁紙は全部白ですね。ふすまは、どんな柄でどんな生地だったか全然覚えてない……ってくらい主張がありません（笑）。

——みなさんに「壁紙やふすまの色、何色ですか？　どんな模様ですか?」って聞くと、だいたい「気をつけて見たことがないからわからない」っておっしゃいます（笑）。ちなみに、真似してみたい壁紙、たとえば旅先のホテルで見つけて気に入ったものなどはありますか？

KIKI：真似したいなって思った壁はあります。白い壁に直に絵が描いてあって……シンプルな一輪の花が大きく描いてあるんです。

——素敵！そのボタニカルなイメージを生かして、KIKIさんプロデュースの貼ってはがせる壁紙をつくりましょう！

KIKI：いいですね！　今、（写真家の故）東松照明さんの作品で、ブルーのバックにアネモネみたいな花が、しかも枯れ始めているような花が置いてある写真があるのを思い出したんですが、ああいう雰囲気もいいと思います。茎の部分に毛が生えているような植物独特な質感で、花がぐねっと曲がってしまっているような……。

——バックはブルーがいいですか？

KIKI：薄いグリーンやグレーもいいかもしれない……。モチーフは、アネモネに限らず、いろんな山野草を緻密なイラストで起こして。うん、やっぱり山野草がいいな。山野草、好きなんです。とかいって、普通の植物にしちゃう可能性もあるかも（笑）。（※実際に、KIKIさんプロデュースで製作した壁紙は本誌4ページでご覧になれます）

濃い色の空間で「陰影礼賛」

——ちなみに、ご自宅はシンプルですか？

KIKI：割とシンプルなんですけど、ものは多い（笑）。本と趣味のものが多くて、納戸にはスキー板やアウトドア用品、自転車などがぎゅうぎゅうなんです。ウィンタースポーツだけでも、スノーボードが2枚にスキー板が私と夫と各2本とあるので、納戸の中はちょっと人には見せられないです（笑）。

アウトドアを仕事にしている方のおうちにお邪魔すると、道具部屋みたいなものがあって、すごくかっこいいんですよね。そうやって、収納することでかっこよく見える部屋があったらいいな、とも思っているのですが、今は飾るところとしまうところを分けているような感じです。

——インテリアや内装で使いたい色や模様についても聞かせてください。

KIKI：好きな色は歳とともに変わってきてはいるんですけども、ここ最近落ち着く色……というか既存の場所にプラスする色はグリーン系が多くて。

以前、お仕事で道後温泉にあるホテルの一室の改装をプロデュースしたことがあったのですが、そのときは迷わずじゅうたんをグリーンにしたんです。それは昔からすごくやりたかったことで。

——「道後オンセナート2014」ですね。道後温泉のある松山市の花であるヤブツバキの写真を壁面に大きく使って。あれは素敵でした。

KIKI：ありがとうございます。あのときは「山小屋」っていうイメージがあったので、それも含めてグリーンにしたんです。

あと、グリーンに惹かれる理由としては、子どものころ

空間づくりに関するさまざまな分野で活躍する方々に
お話をうかがう「MATERIAL」のインタビュー。
4回目となる今号では、「MATERIAL」主宰の坂田夏水の
大学の先輩であり、あこがれの存在でもある
KIKIさんをお招きしました。
引越し間近というKIKIさんが
本誌だけに語ってくれた、
空間づくりの
コンセプトとは？

取材協力：須田奈津妃

1978年東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。大学在学中よりファッションモデルとして活躍。以降、雑誌やTV、CM、映画、ラジオだけでなく、エッセイやコラムの連載執筆など多方面で活躍。時間を見つけては旅へ出かけており、写真、アウトドアや登山などにも造詣が深い。『山が大好きになる練習帖』（雷鳥社）、『美しい山を旅してKIKI's MOUNTAIN JOURNAL』（平凡社）、スタイルブック『KIKI LOVE FASHION』（宝島社）など著書多数。

「自分で育てる空間」の心地よさ

住んでいたマンションの床が濃いグリーンか濃いブルーだったこともあるのかもしれない。それがすごく印象に残っていて、「なんか落ち着く」って思うのかも……。

――昔の住宅って印象的な色を使っていますよね、柄ものの床とかもありましたし。最近の住宅は、白やグレーなどに統一しがちなんですけど。

KIKI：明るい色のほうが広く感じる、というのはあると思うんですけど、私があこがれるのは濃い色の落ち着いたトーンの空間なんです。茶室に代表されるように、日本建築って昔はすごく暗かったじゃないですか。そこに光が入ることでできる陰影の美しさ……それを私も表現したくて、濃い色にあこがれているのかもしれません。

ちなみに、もうすぐ引越すので、床の色や壁の色もいろいろ考えたいと思っています。

自然素材を暮らしに取り込む

――お引越し先のリノベーションは自らの手でやりたいですか？それともプロに頼みたいですか？

KIKI：うーん、私、洋服とかもそうなんですけど、自分の希望は言うけれども提案されるのも大好きなので、やるならプロの方にお願いするかなぁ……。間取りは自分ですごく興味があるんですけど、間取りの先のことはプロの提案を聞きながらやりたいと思います。でも結局は自分で決めてやっちゃうかも（笑）。

――お引越し先をどんな空間にするか、またはもっと先の話でもいいのですが、「理想の住まい」や「理想の暮らし」について教えてください。

KIKI：好きな色と同じで、これもたぶん歳とともに変わっていくものだとは思うんですけど、自然との接点を持ちたいというのはあります。湘南で7年暮らしてみて感じるのは、やっぱり自然が豊かなんです。庭もあるので、室内に植物がいらないんですよね。

一方、今度の引越し先は都内なので、たぶん室内に自然物を置きたくなると思います。以前、東京に暮らしていたときには植物を置いては枯らしてしまっていたんですが（笑）、今度は具体的に植物を置くというより、なるべく自然素材のものを取り入れてみようかな、と。自然素材で染められた布や、木や石や革……できるだけ自然に近い色のものを取り入れていきたいなって、漠然と思っていますね。

――洋風、和風といったテイストのこだわりはあるんでしょうか。

KIKI：洋と和のイメージが人によってだいぶ変わってきちゃうと思うんですけど、どちらかといえば和、になるかなぁ……。でも和風建築にしたいというわけではなくて、洋風な手段で和を表現するということかな？

たとえば、地べたでくつろぐスタイルは和ですけど、それは必ずしも和風建築じゃないとできないことというわけではなくて。テーブルやイス、ソファがある家でも、地べたでくつろぐ和な空間はつくれます。カーペットなどの洋素材を使っていても、床でくつろぐ空間は和だと思うんです。その目線の低さが心地よかったりするんですよね。

自分と場所が育てるということ

――10年後、20年後の暮らしを想像できたりしますか？40代、50代になってKIKIさんはますます素敵でいらっしゃると思うのですが、そのときの暮らしとは。想像できる範囲で教えてください。

KIKI：今までも、親からもらった家具だったりがあって、そういったものをずっと使ってきたのだから、10年後、20年後に新しいものにばかり囲まれていたくはないな、とは思います。10年後、20年後に、それ相応の時間が経ったからこそ心地よい空間になるよう、今新しく購入するものも、長く大切に使えるものを選ぶようにしています。

私、（建築家の）藤森（照信）さんの建築がすごく好きなんですが、それは自然とともに朽ちていくことをよしとしているからで。時間の経過を表現できる空間というのは、すごくあこがれます。

――藤森さんの建築は、それこそ何十年も前からそこにあったかのような雰囲気がありますよね。

KIKI：うんうん、わざと素材を燃やしたり焦がしたり汚したり（笑）。

――壁もわざと雑に塗ったり（笑）。お引越し先で藤森流のリノベーション、ぜひ真似してください！

KIKI：（笑）　私は藤森さんの建築にはあこがれるんですけど、一方できれいな空間は、それはそういうものであっていいとも思うんです。ただ自分がそこに暮らしたいか、自分がつくりたいかといったら別な話なだけで。

あと、ただ古いものが好きというわけでもなくて……。そういったものは自分が育てていく、場所が育てていくようなものだったりすると思うんです。だから10年後、20年後のために今から育てていって。

――大変だけれども、それが楽しみですよね。長く愛着をもって、手垢をつけて。

KIKI：ものを大切にする、場所を大切にするということと、ていねいに生きるということはつながっているので、それができたらと思います。

――素敵。KIKIさんなら、きっとできます！

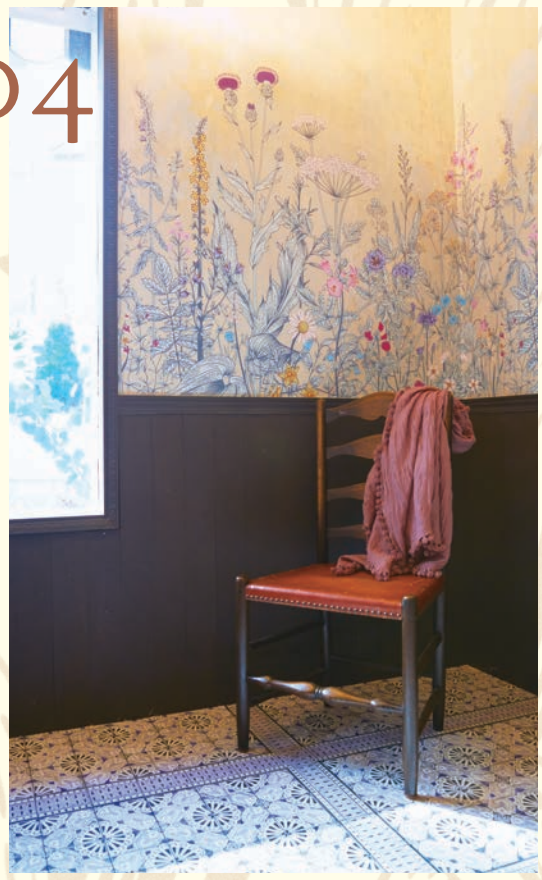
KIKI：いやいや、実はいつも楽しよう楽しようとしちゃう性分なんです（笑）。

KIKIさんの
アイデアをもとに
「MATERIAL」が
製作した
壁紙は

次のページに
→

Material Collaboration #04

MATERIAL × KIKI



「白い壁に直に絵が描いてあって……シンプルな一輪の花が大きく描いてあるんです。」
インタビューの中でKIKIさんがお話しされた、真似したいなって思った壁。
そこからKIKIさんに植物、花、山野草イメージを
膨らませていただきそれをもとに、
MATERIAL編集部と株式会社フィルさんで
壁紙をつくりました!

KIKIさんからいただいたイメージを
汲み取って、ヴィンテージ感の
ある淡いベースの色に、
大胆に草花を配置しました。
大きなお花に囲まれて、
小人になった気分を味わえる
ような素敵な壁紙です。

**KIKIさんと壁紙のイメージを
やりとりするなかで、
こんなキーワードをいただきました。**

「イメージは花。“和花”っぽくも
見えるものが好みです。
写真ではなく写実的な絵で、昔の
標本図のような雰囲気が理想的!
花はいろいろなものが、すこしずつ
重なりあっているのもいいのかも」

「ベースは一色でなく、クリーム色とか
水色とか、淡い色で、すこし
混じり合ったようなものが好き。
白い花が分かる程度に色が
ついているのが良いかな、
なんて思います」

「“理想の住まい”は歳とともに変わって
いくものだと思うんですけど、自然
との接点を持てる住まいにしたい。
住まいの中にできるだけ自然に
近い色のものを取り入れていきたい
なって、思っています」

**この企画のように
自分だけのオリジナル壁紙を
作りたい! という方は
壁紙屋本舗のこちらの商品をどうぞ!
自分で作ったデータを壁紙に
したい方や、写真や絵を
壁紙にしたい方に
ぴったりの商品です。**

こんな感じで
大好きな愛犬の
顔を壁紙にすること
だってできるんです!

オーダーメイド壁紙 4,500円/㎡〜

壁紙屋本舗サイトで購入いただけます。
http://www.rakuten.ne.jp/gold/kabegamiyahonpo/img/wall_p/ordermade/top.html

**これらのKIKIさんの言葉から
イメージしてつくられた壁紙がこちら。**

こちらは実際にDecor Tokyoの店舗に施工しており、店舗と
ネットショップ「MATERIAL」にて購入いただけます。 1パネル¥8,000(税抜) 48cm×250cm

MATERIAL STORY

vol. 4 株式会社フィル

空間を彩るさまざまなインテリア商材たち。
その一つひとつには、つくり手の想いやその商品を世の中に広めてきた人々の功績が隠されています。
普段知ることのできない、インテリア商材に隠されたストーリーを「MATERIAL」主宰の坂田夏水が紐解きます。

今注目の壁紙ブランド

壁紙をDIYで貼りかえて素敵な生活をしている人、あなたの周りにも増えてきていませんか?
いまや、DIY経験者はどんどん増え、東京では10人に1人が経験者になるほどですが、パリでは6割が経験者といわれるDIY市場。
日本中でこれから壁を貼りかえ暮らしを楽しむ人が増えてくるでしょう。
そんな日本の壁紙DIY市場を牽引してきたといっても過言ではない会社が「株式会社フィル」。「WALPA」や「壁紙屋本舗」と聞くと、ぴんと来る方も多いのではないでしょうか。フィルは輸入壁紙専門店のWALPAや、DIYグッズのオンラインショップ壁紙屋本舗を運営している会社で、世界中の輸入壁紙やペイント、またそれを施工する道具にいたるまで、このサイトで全部揃った!といえるほどの商品数を取り扱っています。
そんなWALPAや壁紙屋本舗で購入できる壁紙の中で、私が今一番注目しているのが「WALLTZ」(ウォルツ)というブランドです。

WALLTZって?

WALLTZの壁紙は、すべて「MADE IN JAPAN」日本のすばらしいアーティストやデザイナーとコラボレーションして、おしゃれな壁紙を作っています。普通の壁紙とは異なり、壁一面に大きなイラストや写真がどーんとデザインされているのが特徴。まるで美術館で絵画を見ているかのような気分にさせてくれるのです。1 2

今回KIKIさんと壁紙を作ろうとなったとき、まず頭に浮かんだのがこのWALLTZ。今回は特別にWALLTZの壁紙を印刷している現場で、KIKIさんと作ったデザインを壁紙の印刷に立ち合わせていただくことになりました。
ということで、壁紙デジタルプリント最前線の現場に潜入です!

WALLTZの壁紙ができるまで

1.データ入稿
今回は壁紙パネル3枚セットのデザインに。本来の壁紙は縦のリピートがありますが、今回は縦ではなく、横に左右のリピートがあるタイプで作っていただきました。3枚以上貼りたいときに左右を繋げられるデザインになっています。入稿したデータが印刷用のパソコンにセットされます。3
2.大型プリンターで印刷!
ものすごく鮮明に印刷されていきます。紙は貼って剥がせるフリース素材、インクは環境に良いインクでF★★★★基準もクリアしています。4
3.1枚だいたい30分くらい。あっという間ですね!
割付され印刷が完了した壁紙の左右の端をスリッターがまっすぐカットします。5
4.WALLTZの壁紙は輸入壁紙と違って、重なり部分があります
その部分の柄の重なりを確認して印刷作業完了!6
5.注文から10日以内で商品が到着。商品が届いたら壁紙用の糊を壁に塗り、重なりをチェックしながら貼ったら完成!

WALLTZに込められた想い

「どこかの場所の、だれかの部屋で、順番待ちをしてる壁が、まだまだたくさんあるようです。」7

踊るように、音楽を聴くように、壁紙を楽しんでほしい。
そんな想いが込められたブランドがWALLTZなのです。

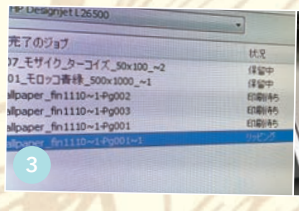
今回、WALLTZのブランディングをされている吉田さんとフィル代表の濱本さんとWALLTZについて想いを語って頂きました。

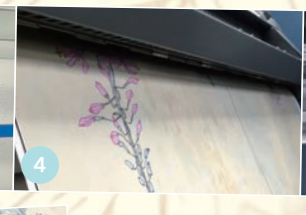
「壁紙なんて選べない、という声を聞くことがありますが、こんな壁が欲しいから壁紙を貼ってみよう!と思ってもらえるようなムーブメントをつくりたい」
「インテリアが好きな人がもっと壁紙にこだわるきっかけになってほしい」
「直感で選べる壁紙を作って、着替えるように壁紙を貼り変えてもらいたい」

壁紙に対する熱い想いが込められたWALLTZのシリーズは、どれも本当にインパクト大の素敵な壁紙ばかり。
WALLTZのサイトもとっても綺麗ですので是非ご覧ください。
http://walltz.jp/

1

2


3


4

5

6

WALLTZ〈ウォルツ〉
- ワルツ(踊り)とウォール(壁)を合わせたもの。
- 踊っているかのように見える壁の様。または、踊る壁紙のこと。
- 音楽を聞くように、壁紙を楽しんでいる様。
- 日本のクリエイター/デザイナーで多種多様・個性的に壁紙のデザインを考えるところ。

7

取材協力:**株式会社フィル**(WALPA・壁紙屋本舗)
日本最大級のDIYサイト「壁紙屋本舗」に加えて実店舗の「WALPA store」も展開。「壁紙との出会いの場を提供したい」「壁紙をDIYで貼り替えることによって生活空間をもっと豊かにしてほしい」このような想いで運営を行っております。
〒551-0013 大阪市大正区小林西1-15-12
☎ 06-6537-7121
WALPA http://walpa.jp/　壁紙屋本舗 http://www.rakuten.ne.jp/gold/ka

DIYに自信のない方でもOK!

MATERIA

施工も注文できる

まずは一面、貼ってみない?

輸入壁紙

❶輸入壁紙1ロール(5200円〜)
※DIYに挑戦するなら…施工セットの購入がおすすめ
❷輸入壁紙の施工道具11点セット(3695円)

プロイエにお願いするなら…

［壁紙の張替え］
価格:¥59,500〜(税抜)
標準サイズ:6帖全面
(材料費別途)

［アクセントクロス］
価格:¥17,500〜(税抜)
標準サイズ:6帖1面
(材料費別途)

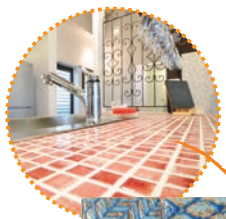
ブラケット

好きなところに棚を作ろう!

❶HANGING BRACKET(1143円)
❷BRACKET(1429円)

プロイエにお願いするなら…

［棚の取り付け］
価格:¥4,000(税抜)
(材料費別途)



つやっと素敵

モザイクタイル

❶ラスティカデザイン 50(500円/150mm×150mm)
❷Perfume Line LANTERN 114/L(500円/150mm×150mm)

プロイエにお願いするなら…

［モザイクタイル張り］
価格:¥35,000(税抜) 糊などを含む
標準サイズ:2㎡まで
(材料費別途)

取りかえるだけ!
あつめてもかわいい!

取っ手

取っ手(500円)

黒だけじゃない!
くすみカラーの
黒板塗料!

お部屋のかわいい
アクセントに
おひとついかが?

アニマルフック

❶ウッドバードフック(1200円)
❷アニマルガジェット フック L ジラフ(2000円)
❸ラビットフック(1800円)

夏水組チョークボードペイント

❶ヴェールパン ❷ブルーナティエ
❸サングリエ ❹ピヴォワーヌ
(4500円/500ml 12000円/2L)
※DIYに挑戦するなら…施工セットの購入がおすすめ
❺オリジナルペイントセット(1904円)

プロイエにお願いするなら…

［黒板ペイント］
価格:¥20,000〜(税抜)
標準サイズ:10㎡以内
(材料費別途)

トイレにひとつ!
雰囲気が格段に
アップします

ペーパーホルダー

PAPER HOLDER(800円)

プロイエにお願いするなら…

［アクセサリー金物］
価格:¥4,000(税抜)
(材料費別途)

はってはがして、
だれでもかんたん

Hatte me

❶Hatte me ドットライトブルー(1240円/500mm×500mm)
❷Hatte me ペルシャじゅうたん柄(2000円/800mm×500mm)
❸Hatte me ダマスクブラウン(2000円/800mm×500mm)
❹Hatte me ドットブルー(1240円/500mm×500mm)

水にも強く、
お手ごろ価格の床材

クッションフロア

❶AZULEJO(3000円/1800mm×2000mm)
※DIYに挑戦するなら…施工セットの購入がおすすめ
❷クッションフロアの施工道具4点セット(3172円)

プロイエにお願いするなら…

［クッションフロア張り］
価格:¥35,000(税抜)
サイズ:6帖(フローリング)
部分パテ+糊貼り
(材料費別途)

ご自宅のドアを、
もっと自由にしませんか?

ドアチェンジ

AIMER 開き戸フラット
(35,000円/UW650 UH2035)

プロイエにお願いするなら…

［AIMERドアの設置］
価格:¥30,000(税抜)
※材料、施工場所によって、価格が変わります。
(材料費別途)

柄を組み合わせて
自分だけの床に

フロアパネル

❶フロアパネル ブラック(1000円/1枚)
❷フロアパネル ブルーY(1000円/1枚)

プロイエでは以下のメニューもお願いできます!

［畳表替え］	**価格:¥6,500**(税抜)	サイズ:1畳
［障子張替え］	**価格:¥2,700**(税抜)	サイズ:1枚
［襖張替え］	**価格:¥3,400**(税抜)	サイズ:1枚

(材料費込)

※下地の状況、施工場所によって価格が変わります。

L PICK UP

る グッズを集めました!

Decor Stucco

❶Decor STUCCO(10000円/20kg)
❷Decor STUCCO(13500円/20kg 施工道具セット付き)

プロイエにお願いするなら…

［スタッコ施工］
価格:¥20,000(税抜)
標準サイズ:10㎡以内
練りこみ済み珪藻土使用

(材料費別途)

これで憧れの塗り壁に!

左から
ブロンシュネージュ
クレム クレム
ヴェール ムース
ビウ ジーン
ラテ シュクル
グリ ブラン
ヴェール ムース
ブラシュレディ

MATERIAL が訪問取材!

プロイエ施工現場にいってきました!

新商品のDecor Stuccoを使用し、実際のお宅の壁一面に施工。
MATERIALが取材に行ってきましたよ!

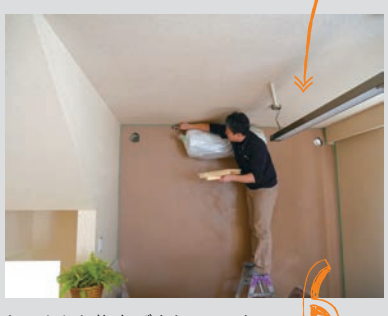
訪問させて頂いたのは、三鷹市に建つSさん邸。お部屋の正面がなんとなく殺風景で、どうにかしたいなと思っていらっしゃるとのこと。今回は新しく発売になったDecor Stuccoを使用し、お部屋のアクセントを作ることに。ワインレッド色のソファが素敵だったので、その色とコーディネートして8色の中からブラシュレディのカラーをお選びになりました。事前に現場を見に来てくれることがプロイエサービスの安心なところ。実際に壁の素材や寸法を確認して、お見積もりを出してくれるところまで無料でやってくれるんです。

いよいよ施工日当日。事前に現場を見に来てくれた担当の方が施工にも来てくれるので、安心して作業をおまかせできます。まずはしっかりと養生を。床はもちろんのこと、コンセントやエアコン、手前に置いている家具までしっかりと養生してくれるので、事前の準備は不要です。

今回使用したDecor Stuccoは壁紙の上からも施工できる塗り壁材。練られた状態で届くので、早速コテを使って塗っていきます。

壁の端やエアコンの際部分のコテ使いはさすがプロの手つき!こういう部分が難しいんですよね!

今回はコテ跡が残るランダム仕上げにしていただきました。素材のよさを生かした仕上げで、壁紙やペンキとは違った表情が出てきます。一見和風な素材にも見えますが、色は夏水組プロデュースのおしゃれな色味なので、洋室でもよく馴染みます。



しっかりと仕上げをして、いよいよ完成に近づいてまいりました。

壁が完成したところで、更に今回は棚もつけていただきました。今回は既製品の棚でしたが、こんな棚を作って欲しい、とお願いすればオリジナルサイズで棚を作ってもらうことも可能。一軒一軒、そのお宅に合った施工をしてくれるのがプロイエの強みです。

完成!!殺風景だった白い壁が、見違えるようなアクセントの壁に大変身!壁の素材や環境によって多少変わることもありますが、養生から塗り作業、棚の取り付けまで、あっという間。今回の作業はおよそ半日で完了しました。気になるご予算は、壁施工費が20,000円(税抜)、材料費が10,000円(税抜)、棚取り付け費が4,000円(税抜)、総額34,000円です!

総額34,000円!

プロイエって何?

プロイエは、安心してご利用いただける、住まいのお悩みを解決するサービスです。パナソニックが住まいのプロとして今まで蓄積した技術や経験を生かし、お客さまのお悩みごとを解決してくれるので安心。例えば、「網戸の張替え」また「棚の取り付け」「家具の移動」など、ハウスクリーニングや水周りのトラブルまで住まいの相談相手としてプロイエをご利用ください。店舗ごとにエリアを限定しサービスを提供しているため、お客さま訪問にかかる時間がほとんどかからず出張、相談、見積りが無料となっています。プロイエは、まさに「あなたの街の頼れるおうちの便利屋さん」。おうちに困りごとのある、そんな方は一度プロイエに頼ってみてはいかがでしょうか?

サービスの流れ

1) **お問い合わせ** まずはフリーダイヤルからお問合せください。
2) **ご相談・お見積り** サービススタッフがご自宅にお伺いし、お見積りします。ご相談・お見積は無料ですので、お気軽にご相談ください。
3) **施工** ご発注後、サービススタッフが施工に伺います。※お見積り時にその場でご提供できるメニューもございます。
4) **お支払い・アフター** お支払いは振込・現金払いまたはコンビニ払いになります。

依頼人 **三鷹市在住 Sさん**

「ずっと気になっていた壁が、あっという間に見違えるようになってとても嬉しい。お値段も思っていたより全然安くて驚きです。キッチンの収納が足りていなくて困っていたので、次はキッチンもお願いしたいなと思いました。」

プロイエご担当者 **大木さん**

「DecorStuccoは施工性も良くお部屋の雰囲気が一変して驚きました。住まいに関する困ったな?やお悩み事は遠慮なく「PROIE」にご相談ください。」

・ラスティウッド・ウォールラック ¥12,500・グリーンネックレスハンギング ¥1,700
・ウッドスタンプ 各¥600・ビジューガラスポット カレイド ¥400
・アリスハイドレンジアMV/GR ¥520・多肉ブーケ ブライト GREEN ¥1,280
・バーラップ/コットン クッション S タイル 各¥600・トランプ ブックボックス ¥750
・バーラップ/コットン クッション L タイル 各¥1,200・ブックボックス ピンク ¥1,400
・フレンチクラシック グラスキャンドル ホワイトティー ¥1,920

PROIE

お問い合わせ:**新横浜テクニカルセンター 045-534-1090**
営業時間:9:30〜18:00 定休日:日曜、祝日、GW、夏季休暇、年末年始(12/29〜1/4)

Work Shop

DecorTokyoではお店に併設されたワークショップスペースにて、さまざまなイベントを開催中です。

見学会付き!
リノベるのリノベーションセミナー

リノベるにてリノベーションされたお宅にお邪魔するという見学会付きのセミナー。実際に住まわれているお宅にお邪魔できる、という他ではなかなかできない体験です。図面だけではわからない、更にはモデルルームでは感じることのできない、そんな気づきがたくさんありますよ!リノベるではこうした物件見学会を定期的に行っております。まだまだ自分の家なんて…と思う方も、リノベーション考えてます!という方もまずは是非ご参加を!(無料)

椅子に壁紙を貼る。
スツール作りワークショップ

店頭に並ぶ輸入壁紙から、壁紙を選んで椅子に貼り、上からコーティング。世界に一つの自分だけの椅子をつくるワークショップ。Decor Tokyoにて定期的に開催しているワークショップですので、壁に貼るのがまだ不安な方も、自分だけのオリジナルの家具を作りたい方にもおすすめです。(3000円 1時間30分程度)

壁紙でつくる!
オリジナルタンブラー

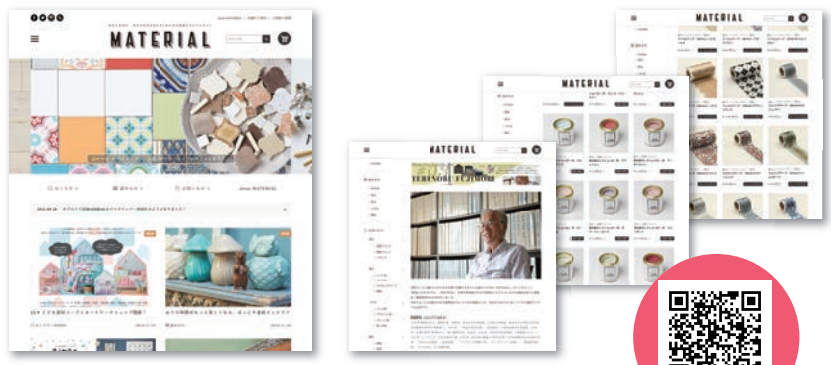
壁紙を使っておしゃれな自分だけのタンブラーを作るワークショップ。カフェタイムを素敵なものにしてくれるはず。プレゼントにもおすすめです。壁紙ってどんなものなんだろう、というDIYビギナーの方は是非一度参加してみて。普通の紙とは違った壁紙独特の質感や印刷の具合をお気軽に楽しんでもらえる内容です。(1000円 10分程度)

住まいのワークショップにぜひご参加ください!

Decor Tokyoではさまざまなイベントを開催中。情報については随時Decor TokyoサイトやFacebook等でご案内しておりますので、是非チェックしてください!

Net Shop

ネットショップ「MATERIAL」でも、誌面にてご紹介いたしました商品をお買い求めいただけます。重たいペンキや大きな床材など、お店で買って帰るのは大変…という商品はネットショップでお買い求めいただくのがおすすめ。プロイエとのコラボレーションで黒板ペイント塗装や、壁紙の張替え、モザイクタイル貼りなどの施工メニューもこちらのネットショップからご注文いただけるようになりました!インテリアに関する最新情報、イベントのお知らせ、DIYが初めてという方にもわかりやすく解説した壁紙やクッションフロアの貼り方のハウツーなど随時配信しております!タブロイド「MATERIAL」のバックナンバーもこちらでお読みいただけますので、一度アクセスしてみてくださいね!



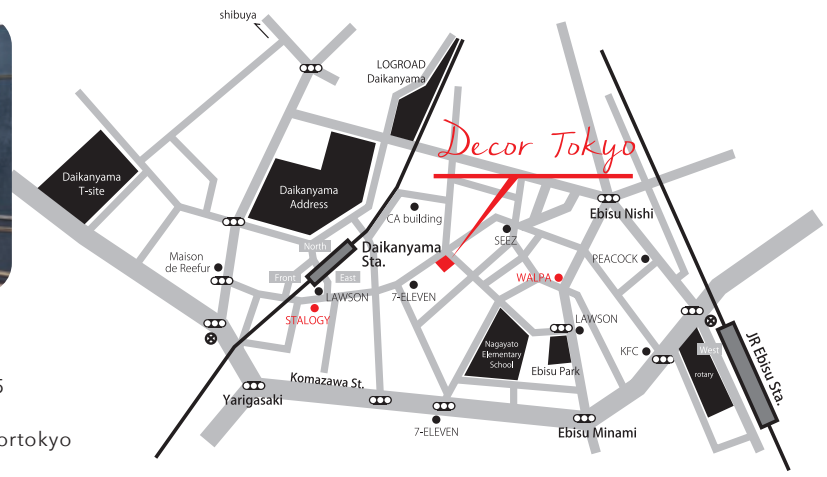
http://material-interior.com/

編集後記

2017年になりました! 今年はどんな年になるんでしょうねー。私は毎年始めに今年の目標を書き出します。達成できない目標ももちろんありますが、殆どが予想外の動きで知らないうちに叶っていたり。毎年振り返ると「そんなはずじゃなかったよ!」と驚きます。今年も先が読めずに猪突猛進、楽しんでいきます。
最近私の長年の夢が2つ叶いました。ひとつは、子供部屋つくりのワークショップをすること。2歳くらいの女の子と男の子で一緒にお部屋のコーディネートを楽しみました。
もうひとつは、襖紙をつくること。襖紙の印刷をしている会社に協力いただき、夏水組デザインの襖紙を2017年初旬より販売開始します。
今年もMATERIALとDecorTokyoを宜しく御願いいたします。

(夏水組・坂田夏水)

Decor Tokyo
Interior Material Store



Interior Material Store
Decor Tokyo(デコールトーキョー)
(東急東横線 代官山駅 徒歩3分 / JR山手線 恵比寿駅 徒歩5分)

住所:渋谷区恵比寿西1-31-18

定休日: 水曜日
営業時間: 11:00〜19:00
TEL: 03-5784-1597 FAX: 03-4335-2435
http: //www.decor-tokyo.com
Facebook: decortokyo Instagram: decortokyo

協賛 iemo 壁紙屋本舗 らしい暮らしを、見つけよう リノベる。 Nitto Group Company 株式会社ニトムズ BinO Master's Club FREEQ HOMES NATSUMIKUMI

発行日:2017年1月1日 | 発行人:坂田夏水 | アートディレクション・デザイン:西垂水敦・坂川朱音(krran) | 撮影:澤野躍子 | 発行:東京都渋谷区恵比寿西1-31-18 GONGRI Inc. | TEL:03-5784-1597